



北方資料展示コーナー・北海道の灯台のいまと昔

納沙布岬灯台からはじまる、北海道における灯台の歴史と現代の灯台について、灯台史やガイドブックなどの本のほか、絵葉書やパネル、模型などを展示しました。

写真は、平成18年まで小樽港の灯台で使用されていたレンズで、海上保安庁第一管区保安本部（小樽市）からお借りして展示しました。（関連記事：p. 8）

目 次

事業報告	1
平成25年度全道図書館研究集会	
平成25年度全道図書館専門研修	
一般向け開催講座	
市町村図書館職員レファレンス体験研修	
道立図書館資料展示	
平成25年度全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰	9
平成25年度北海道立図書館協議会	11
図書館協力用資料について	12
平成26年度事業計画	13
掲示板	14

平成25年度全道図書館研究集会

- テーマ：「電子資料の可能性と他機関との連携について」
- 期 日：平成25年10月10日（木）～11日（金）
- 会 場：北海道立図書館
- 参加人数：39名
- 内 容：
 - I 基調講演「文化・歴史の継承と利用のための電子資料」
フルライトスペース株式会社代表取締役 満尾哲広氏
 - II 情報交換1 「図書館で電子資料を利用する」
2 「まちぐるみで電子資料を活用する」
進行 北海道立図書館北方資料課主査 工藤嘉一 助言 満尾哲広氏
 - III 事例発表
 - 1 「新しい情報端末を住民に」 豊頃町図書館司書 中村加美氏
 - 2 「栗山町図書館資料のデジタル化の現状」 栗山町図書館長 土井道子氏
 - 3 「文書館のデジタルアーカイブについて」 北海道立文書館主査 石川淳氏
 - IV 情報提供
 - 1 「MLA 連携と「北方資料デジタルライブラリー」のこれからについて」 工藤嘉一
 - 2 「資料のデジタル化のノウハウについて」
株式会社サンコー第Ⅱ営業推進事業部係長 長嶺仁志氏

【基調講演】 社会のニーズに合った公共施設としての役割や、図書館等における電子資料の意義や必要性、関係機関で連携していくことの重要性について、御講演いただきました。

【情報交換1・2】 所蔵資料のデジタル化やその利活用について、ワールドカフェ方式で行いました。参加者は、公立図書館（室）職員のほか、大学図書館、博物館、美術館、文書館など、館種を越えて集まっており、多様な意見を交換していました。



【事例発表・情報提供】 電子資料の基礎的事項やデジタルアーカイブについて、様々な現場から情報が提供されました。また、利用者の声に応え、市街地図を試行錯誤しながらデジタル化した例や、タブレット端末の運用の仕方などについて事例が紹介されました。

各館の資料を後世に残し有効活用していくために、資料のデジタル化を進め、将来的には関係機関が、協働でデジタルアーカイブを構築していくことの重要性を、改めて認識したとの感想が多く寄せられました。

(企画支援課)

平成25年度全道図書館専門研修

【経営】

○テーマ：「ためになる、役に立つ、楽しい図書館をつくる」

○期日：平成25年11月28日（木） ○会場：遠軽町福祉センター ○参加人数：17名

○内容：

I オリエンテーション「多様な図書館サービスと広報活動」

説明 北海道立図書館企画支援課長 吉原和夏子

II 事例紹介「人を呼ぶ資料展示とイベントについて」

発表 北海道立図書館北方資料課長 加藤ひろみ

III 事例紹介「岩見沢市立図書館の取組」

発表 岩見沢市立図書館長 勝田真澄氏

IV グループ演習「図書館をアピールする企画を考える」



図書館サービスを充実し、利用を拡大していくための企画と広報について研修を行いました。

岩見沢市立図書館長の勝田氏からは、岩見沢市立図書館の取組の中でも、図書館から地域に出て行き展開する「地域図書サービス拠点事業」と「ブックカフェ」について紹介されました。

ほかにも、多方面との連携による北方資料室の展示等に関する事例紹介や、ワールドカフェ方式によるグループ演習などを行いました。

参加者からは、「できるものから取り組みたい。」「他市町の状況を聞き、勉強になった。」「管内の開催だと参加しやすくていい機会だった。」等の感想が寄せられました。

【資料保存】

○テーマ：「図書館資料を長く有効に活用するために」

○期日：平成25年12月11日（水） ○会場：滝川市役所 ○参加人数：18名

○内容：

I 講義「製本に関する基礎知識と資料保存・補修について」

II 演習1「簡易な補修」

III 演習2「無線綴じ本の修理」

IV 演習3「糸を使った修理」



当館職員が講師を務め、演習を中心に補修や製本の基礎的な知識と技術を学ぶ研修を行いました。

講義では、本の各部の名称や造本のしくみ、本の保存方法についての説明をし、実際に修理で使用する道具を紹介しました。

演習では、のど割れや破れがある本について、応急処置の方法や本を分解しての修理方法の実習を行いました。また、絵本の修理で行う糸かがりについて、本のつくりごとに異なる方法を、それぞれ実習しました。

受講者からは、「自館では行っていない修理方法が学べた。」「今後役に立つことが多く、勉強になった。」などの感想が多く寄せられました。

【地域資料】

○テーマ：「住民を惹きつける図書館サービス～魅力あるコーナーづくりと資料収集」

○期日：平成26年1月23日（木） ○会場：北海道立図書館 ○参加人数：19名

○内容：

- I 事例紹介「地域の魅力を見つめ直す～図書館から情報発信する・芦別市立図書館での取組～」
発表 芦別市立図書館管理係長(司書) 藤田伊津子氏
- II 講義「北海道の地域資料の現状と課題」講師 北海道立図書館北方資料課主査 小川靖子
- III グループ演習「地域資料コーナーをリニューアルしよう」
助言 藤田伊津子氏、北海道立図書館北方資料課主査 工藤嘉一、小川靖子
- IV 情報提供「実態調査に見るデジタル資料の現状と他機関との連携について」発表 工藤嘉一

地域資料の収集と利活用についての研修を行いました。

事例紹介では、特集コーナーの設置や上映会など、地域の実情に応じた多種多様な地域資料に関する取組が紹介され、大変参考になったという感想が多くありました。

講義では、平成24年に実施した「地域資料に関する実態調査」から、道内市町村における地域資料の現状や課題を分析したほか、パンフレットなどの整理方法について、当館資料の現物を示しながら説明しました。

グループ演習では、事前課題の配置図やチェックシートを用い、それぞれの図書館（室）における地域資料コーナーの課題や改善点について、互いに意見を出し合いリニューアル案を考えました。他館の実情を知り、交流もできたと好評でした。

情報提供では、平成25年実施の「地域資料に係る連携及びデジタル化に関する実態調査」について、中間報告を行いました。



【こども読書】

○テーマ：「ヤングアダルトのための選書を考える」

○期日：平成26年2月13日（水） ○会場：北海道立図書館 ○参加人数：43名

○内容：

- I 講義「ヤングアダルトの選書と利活用」講師 札幌聖心女子学院司書 新田裕子氏
- II ワークショップ①「選書に役立つ参考資料を探索する」 ②「おすすめ本紹介カード等の作成」
- III グループディスカッション「ヤングアダルトのための選書と資料紹介の工夫」

ヤングアダルトの選書をテーマに、講義と実習等を組み合わせた研修を行いました。

講義では、中高一貫教育の現場で長年、子どもたちの読書に向き合ってきた新田氏から、選書の際の留意点や、実際に使用している参考図書、雑誌などを紹介いただき、今後の選書に役立つとの声が多く寄せられました。

また、本研修では公立図書館職員等のほか、学校教職員等からの参加もあり、ワークショップやグループディスカッションを通じて、おすすめ本やPOPを紹介し合うなど交流を深めていました。



(企画支援課)

一般向け開催講座

■ 北海道立図書館書庫ツアー

100万冊を超える本を所蔵している当館の機能や役割について理解していただくことを目的として、普段は入ることができない閉架書庫を職員が案内する書庫ツアーを年4回開催しています。今年度は5月3日（金・憲法記念日）に子ども向け、7月30日（火）、11月3日（日・文化の日）、2月6日（木）にそれぞれ一般向けの書庫ツアーを開催し、延べ76名の参加がありました。

一般向けツアーでは児童書庫、第一書庫、第二書庫に収蔵する資料を紹介しながら御案内しました。アンケートでは、栗田ブックセンターから寄贈（注）された雑誌について「こんな資料も保存しているのか。」「普段見られない本を見ることができて面白かった。」など好評でした。一方、「もっとゆっくり見たかった。」「ジャンルを絞って深く書庫の中を見てみたい。」などの声もあり、来年度の書庫ツアーに向けて、参考となる御意見もいただきました。



（注）栗田ブックセンターから、昭和24年以降刊行の約13万冊の図書が、昭和38年及び40年に寄贈されました。昭和50年には、昭和24年から49年に刊行された雑誌30万冊も寄贈され、戦後の世相・風俗を知る上で貴重な資料となっています。雑誌の寄贈は現在も続いています。

（利用サービス課）

■ インターネット活用術1（基礎編）「検索エンジンを上手に使おう！」

■ インターネット活用術2（応用編）「暮らしに役立つ消費者情報」

○日時：平成25年11月14日（木）13:30～16:00（基礎編）

平成25年11月21日（木）13:30～16:00（応用編）

○会場：北海道立教育研究所附属情報処理教育センター ○参加者：基礎編 7名 応用編 6名

基礎編では、インターネット上の情報への入口である検索エンジンを使うコツの習得を目指しました。GoogleとYAHOO!を例に、キーワードの選び方や「横浜以外の中華街を効果的に検索するには？」など情報を絞り込むための検索の方法を、受講者が1人1台の端末で体験しました。

応用編では、当館ホームページのリンク集「Do-Links（どりんくす）」から「消費生活情報・お役立ちサイト」を取り上げました。「〇〇詐欺」への注意を喚起する情報や、化粧品の自主回収情報ほか、私たちの安全で安心な生活を守る情報の入手方法を「国民生活センター」のサイトなどと



ともに紹介しました。

基礎編、応用編、両方に参加いただいた方からは、「今までインターネットを使っていて不自由は感じていなかったが、より効率的な検索方法が分かって良かった。」との感想をいただきました。

(利用サービス課)

■ 利用講座「今すぐ暮らしに役立つ北方資料入門講座 ～はじめての北方資料活用術～」

○日時：平成25年9月28日(土) 13:30～15:30

○会場：北海道立図書館研修室 ○参加者：20名

この講座は、北方資料を活用していただくための入門編で、北方資料室と北方資料の概要、図書館が行っているサービスや利用方法について説明する「北方資料室と北方資料について」、調べものをする際の基本的な資料約40点の特徴、使えるポイントを紹介する「調べる基礎資料入門」、実際に寄せられた質問をもとに例題を用意し、調査に取りかかる際のポイントや、回答までの経過などを紹介する「調べ方の実際」の3部構成で行いました。



受講者の約半数は当館の来館が初めてということもあり、アンケートでは「わかりやすく、ためになる内容だった。」という意見が寄せられました。一方で、より実践的な調べ方の講座を望む声も聞かれました。

(北方資料課)

■ 第12回資料で語る北海道の歴史講演会「芸能興行から近世北海道の地域社会を眺める」

○日時：平成25年11月16日(土) 13:30～15:30

○会場：北海道立図書館研修室 ○参加者：42名

北海道史研究協議会の御協力により、同会会員で北海道開拓記念館学芸員の三浦泰之氏を講師に迎えて開催しました。

講演は芸能興行を切り口に、近世北海道の地域社会の特徴や興行の具体的なエピソードなど、資料や画像を交えて行われ、わかりやすく、興味深い内容となりました。

アンケートでは「良かった」という意見が圧倒的に多く、他にも「説明が明解で分かりやすい。」



「芸能興行の面から地域の社会構造を見ていくという視点がすこぶる新鮮だった。」等、大変好評でした。

(北方資料課)

市町村図書館職員レファレンス体験研修

「調査相談業務」とも呼ばれるレファレンスサービスは、本の貸出しとともに図書館にはなくてはならないサービスの一つで、図書館職員による、利用者の図書館利用をサポートする様々なサービスを指します。調査の内容によっては、近隣の図書館や道立図書館など他の図書館と協力して必要な資料を探し出し、取り寄せる手配もします。さらに、近年では資料による調査だけに止まらず、インターネット情報や、有料のデータベースなども活用した調査も増えています。

市町村図書館職員レファレンス体験研修は、利用者の多様なニーズに応えるため、市町村図書館職員のスキルアップを図ることでレファレンスサービスの向上に資することを目的としており、それぞれの図書館の事情に合わせたカリキュラムを組んで行う個別研修というのが特長です。

当館のレファレンスを担当する司書が講師を務め、レファレンス業務の現場を会場に、業務と平行して実施しています。平成25年度は5つの市町村から申込みがあり研修を行いました。

平成25年度に実施した「市町村図書館職員レファレンス体験研修」から

浦幌町立図書館（1名）

地域資料とインターネットの利用をテーマに、レファレンスサービスの材料になる地域資料の収集、インターネットを活用した情報の収集方法などについて、研修を行いました。

広尾町立図書館（2名）

レファレンスサービスの基本の確認と当館を活用した協力サービス全般について研修するとともに、利用者とのコミュニケーションスキルに役立つレファレンスインタビューについて学びました。

市立小樽図書館（8名）

市立小樽図書館の職員研修会に合わせ、現地研修会として実施しました。多数の職員が参加し、サービスの向上と普段感じているサービス方法に関する研修を行いました。

北見市立中央図書館、北見市立留辺蘂図書館（各1名）

新館計画が進む北見市において、利用を検討している有料データベースとレファレンスサービスの向上について研修を行いました。

幕別町図書館（2名）

地域資料の活用をテーマに、レファレンスサービスの基本の確認や、インターネットを利用したサービスの可能性について研修を行いました。

－ カリキュラムの例 －

- 1 道立図書館や他の図書館と連携したレファレンスサービス
- 2 参考図書（事典・辞書・白書・統計書類）の利用の高度化
- 3 インターネット情報を活用したレファレンスサービス
- 4 レファレンス・インタビュー（利用者の質問を受けるスキル）の向上
- 5 科学技術資料、医療・健康情報、法令・判例、統計のレファレンスサービス
- 6 有料データベースの利用（法律、科学技術、農業技術、雑誌文献、新聞記事情報他）
- 7 レファレンス事例研究（課題演習）
- 8 地域（郷土）資料を利用したレファレンスサービス ※ 北方資料課が担当

(利用サービス課)

道立図書館資料展示

今年度の一般資料の展示は、既存の展示スペースであるエントランスホール・児童コーナー及び閲覧室（「窓辺の本棚」）のほか、閲覧室等に特設コーナーを設け、合計34回実施しました。主なものを紹介します。

■ エントランスホール

①「中原淳一 ー生誕100年ー」平成25年8月31日（土）～11月28日（木）

戦前から雑誌『少女の友』の挿絵、表紙絵等を手掛け、戦後は雑誌『それいゆ』『ひまわり』等を創刊し、女性誌の基礎をつくっただけでなく、イラストレーター、ファッションデザイナーなど多彩な才能を發揮した氏の生誕100年没後30年にちなんで、『それいゆ』を中心に関連資料を展示しました。

当時を懐かしむ方を中心に反響が大きく、当初の展示期間を1か月延長しました。



②「芥川賞・直木賞150回」平成26年1月4日（土）～2月27日（木）

平成26年1月16日、第150回の受賞作が決定した両賞に合わせて、「芥川賞・直木賞の歴史」、「受賞作家の横顔」、「映画化された受賞作」、「芥川賞・直木賞を論ずる」の括りで、雑誌記事を中心に紹介しました。

両賞制定の宣言文が掲載された雑誌『文芸春秋』13年1号（昭和10年1月）は札幌市中央図書館から借り受けて展示しました。また、両賞の受賞作や関連データをまとめた資料を作成しホームページで公開しました。

過去の受賞作は、一般資料閲覧室に「コーナー」を特設し、多くの方に利用されました。

■ 児童コーナー

①「はっけん！むしむしワールド」平成25年6月29日（土）～8月30日（金）

従来の展示コーナーを大幅に拡大し、夏休みに合わせて「昆虫」を扱った絵本や物語、図鑑を並べました。子どもたちが大好きな虫の世界は大好評で、毎日多くの本が貸し出されました。

②「わく！わく！ぶーぶーワールド」平成25年11月1日（金）～12月28日（土）

冬休みには、「自動車」をテーマに、絵本や図鑑を並べました。併せて、25の全国の自動車ミュージアムや関連企業・団体からの御協力をいただき、子ども向けのパンフレットやリーフレットを配布しました。多くの本の利用と共に関連情報を提供できました。



■ その他

今年度は、外部機関等と連携して次のような特設展示も実施しました。（ ）内、連携先です。

- ・ 環境関連図書コーナー（北海道環境生活部環境推進課）
- ・ 理科読図書コーナー（北海道立理科教育センター）
- ・ 北海道で活躍されている方々による「おすすめの1冊」（北海道教育庁生涯学習課）
- ・ 映画「パーシージャクソン」図書館利用促進タイアップポスター等連携展示（北海道教育庁生涯学習課）

- ・ 「若い人に贈る読書のすすめ」(読書推進運動協議会)

(利用サービス課)

■北方資料展示コーナー

今年度の北方資料の展示のキーワードは「連携」でした。北海道の「資料」を所蔵する様々な機関や団体等と「連携」した資料展示を紹介します。

①「空知の炭鉱の暮らしとその記憶」平成25年10月5日(土)～12月26日(木)

かつて、空知地方には100以上の炭鉱があり、90万人の人たちが暮らしていました。今も多くの「炭鉱の記憶」が残っています。図書・パンフレット・写真・絵葉書を中心に「空知の炭鉱と暮らし」を振り返りました。

展示では、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団、炭鉱ナビ、空知総合振興局、美瑛市、歌志内市、芦別市の博物館などからパネル・塊炭・写真・パンフレットなどの御協力をいただきました。



②「北海道の出版社を紹介します」平成26年1月4日(金)～2月6日(水)

出版社が東京に集中する中、北海道で地域に根ざした出版を続ける出版社を紹介しました。展示では、道内の出版社7社からパンフレットなどの御協力をいただきました。

③「北海道の灯台のいまと昔」平成26年2月16日(日)～3月2日(日)

明治の開拓期から、北海道の海の安全を守り続けている灯台の歴史と現在を、明治の北海道の灯台のペーパークラフト、絵葉書、灯台史などの資料で紹介しました。

海上保安庁第一管区保安本部からは、灯台のレンズや北海道の灯台の紹介パネル、小樽市総合博物館などからも資料の御協力をいただきました。

(北方資料課)



■特設展示「暮らしを応援！」

期日：平成25年9月28日(土)～開催中 会場：開架書庫

新しい資料収集計画(5か年計画)のもとに収集した資料の中から、平成25年度の重点分野である「暮らしの支援(道民の生活と生命に関わる分野)」に関連した資料について、次のテーマで展示を行っています。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 第1弾「健康・医療」 | 第2弾「身近な法律」 |
| 第3弾「防災」 | 第4弾「生活情報」 |
| 第5弾「生き方を探る」 | 第6弾「夢をかなえる」 |
| 第7弾「食を活かす」 | 第8弾「教えはぐくむ」 |
| 第9弾「つながりを創る」(～4月11日) | |
| 第10弾「総まとめ! ベストリーダー」 | |

(4月12日～30日予定)



健康・医療や法律問題(税金、相続、年金、労働)など、暮らしに役立つ実用的な資料のほか、生き方や老後の生活など、人生を有意義にする上で参考となる資料が予想以上に利用されました。

今後、26年度は仕事の支援、27年度は地域の活性化支援と、身近なことから地域課題まで、道民の現在と未来に役立つ資料の充実をすすめていきます。

(資料課)

**平成25年度
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰
北海道読書推進運動協議会**

公益社団法人読書推進運動協議会では、「読書週間」事業の一つとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて、独自に北海道表彰を行っています。

受賞された各グループの活動内容などを紹介します。

全国表彰（1団体）

■ **函館朗読奉仕会 函館市 昭和50年発足**

昭和50年に、図書館で実施していた講座「本に親しむ女性教室」の参加者が中心となり、図書館の視聴覚障がい者奉仕活動ボランティア団体として発足しました。

視覚障がい者用録音図書を作成し図書館に提供するほか、対面朗読（図書館で実施）、図書館や幼稚園での読み聞かせ、盲学校の児童との交流や児童劇・放送劇のテープの寄贈を行っています。

そのほか、読書や文学に関する講演会を実施するなど、文化活動やまちづくりに大きく貢献しています。

北海道表彰（5団体）

■ **人形劇団こぶしっこ 岩見沢市 平成元年発足**

空知管内を中心に活動している人形劇団です。図書館をはじめ、幼稚園、保育所、障がい児学級、児童館、子育て支援センターなどで、子どもの年齢や行事に合わせ、人形劇やパネルシアター、エプロンシアター、大型紙芝居などを実施しています。

また、図書館が主催する各種事業へボランティアとして積極的に関わり、ブックスタートの協力や図書館フェスティバルの実行委員を務めるなど、地域の子育て支援活動のみならず、地域の生涯学習活動や文化活動に貢献しています。

■ **おはなしのびっ子 厚真町 平成5年発足**

公民館図書室で月1回、就学前の幼児を対象とした絵本や紙芝居の読み聞かせを行っているほか、こども園や保育園等の行事に出向き読み聞かせやパネルシアターを実施しています。また、発足当初から会報「このゆびと一まれ」を毎月発行し、保護者向けに読み聞かせ会の紹介や読書に関する情報発信を行っています。

このほか、町のブックスタート事業に協力し、読み聞かせの実演を行いながら、乳児とその保護者に絵本を手渡す活動や、町内の小中学校の学校図書館環境整備を行う活動をしており、子どもたちの読書活動の推進に貢献しています。

■ **読み聞かせグループ「ピノキオの会」 せたな町 平成14年発足**

月1回、情報センター（図書室）で幼児から中学生、保護者を対象とした読み聞かせ会を実施するほか、こどもの日や七夕、クリスマスなどの催事に合わせた特別集会を開いています。また、小学校に出向いての読み聞かせや、ブックスタート事業への協力をしています。

このほか、自ら読み聞かせの勉強会を実施し、意識の向上を図っており、他町で開催される講演会に参加するなど積極的に読書普及活動に取り組んでいます。

■ **湧別高等学校ボランティア同好会 湧別町 平成6年発足**

毎週土曜日に図書館または児童センターで読み聞かせを実施しており、ひな祭りやクリスマスなど行事に合わせた活動なども行っています。読み聞かせ終了後には、手製の記録カードを配付して、参加者の好評を得ています。

年2回に行われる地域の保育所での読み聞かせ会では、自分たちで作成した特大絵本を披露するとともに、ブックスタート事業では、会場での読み聞かせのほか、手渡すバックに付ける赤ちゃんの名札を製作しています。

そのほか、様々な図書館行事で活動しており、なくてはならない存在となっています。

■ **よみきかせの会ババール 幕別町 平成7年発足**

月1回、幕別町図書館札内分館で、幼児から小学校低学年を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、パネルシアターを実施し、来場者向けに「ババール通信」を発行しています。また、年2回スペシャル公演を実施し、公演の運営から企画、製作を行っています。

そのほか、月1回小学校の朝読書の時間に、低学年を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせの実施や、町内外の幼稚園、保育所、小学校、育児サークル等での公演、読み聞かせや朗読、パネルシアターの講師を務めており、町内外での子どもの読書活動の推進を進めるほか、関係団体やボランティアの資質向上や育成に大きく貢献しています。

北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞（3団体）

■ **布遊具・布絵本製作サークル「ぷちパンプキン」 秩父別町 平成19年発足**

布遊具や布絵本の製作のほか、小学校の昼休み時間の読み聞かせ活動や子育て支援センターでの読み聞かせを行っています。

また、図書館の行事にも積極的にに関わり、毎年10月に開催する「絵本おはなし会スペシャル」では人形劇を製作し公演をしています。そのほか、認定こども園や小学校1・2年生の総合学習の時間に、人形劇や大型紙芝居、アニメーション等を取り入れた出前公演も行っており、子どもたちに本を読む楽しさを広め、読書活動の推進に貢献しています。

■ **恵庭市立図書館ボランティア「黄色いエプロン」 恵庭市 平成11年発足**

図書館利用者の家庭で不要になった本を集める「リサイクルボックス」を図書館玄関内に設置し、寄せられた本の点検・ジャンル分けを行っています。これらの本は、毎年春・秋に図書館で開催する会主催事業の「本のリサイクル市」で、市民に安く提供し、その売上金から図書館へ本を寄贈しています。

そのほか、図書館前庭の花壇への植栽や除草の作業、年1回の近隣図書館への研修など、恵庭市が市民との協働で進めている読書振興に大きく貢献しています。

■ **朗読サークルこずえの会 芽室町 平成10年発足**

町広報誌「すまいる」の音訳テープを作成し図書館に寄贈するほか、介護老人施設へ毎月定期的に訪問し、大型紙芝居や朗読を行っています。また、年1回活動発表会を実施し、詩や民話、朗読劇などを披露しています。

このほか、町内外の各種講座やイベントなどに講師や出演の依頼などがあり、その活動は広く認められています。

(企画支援課)

平成25年度北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- 第1回 平成25年7月18日（木） 北海道立図書館会議室 出席委員 9名
議題 1 副会長の選出について
2 平成24年度業務実績について
その他
- 第2回 平成25年11月27日（水） 北海道立図書館会議室 出席委員 8名
議題 1 平成25年度の活動状況について
2 特定課題評価について
報告 1 インターネット予約貸出しサービスの利用状況について
2 開館時間延長の実施結果について
その他
- 第3回 平成26年3月18日（火） 北海道立図書館会議室
議題 1 「平成26年度北海道立図書館運営計画」（案）について
その他

- 吉田副会長と神野委員の退職（平成25年3月31日付け）に伴い、松永委員（根室市図書館長）と菅原委員（豊頃町教育委員会教育長）が5月23日付けで就任されました。

後任の副会長には下田委員が選出され、新たに就任された2名の委員とともに、事業推進計画（平成25～29年度）の初年度の事業について、様々な視点から御意見をいただきました。

- 平成26年度は図書館協議会委員の改選期にあたります。委員の交替は平成26年11月1日を予定しています。詳しい内容が決まりましたらホームページや報道機関等を通じてお知らせします。

その他、協議会に関する情報を掲載していますので、是非、御覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

[トップページ](#)>[道立図書館について](#)>[道立図書館協議会](#)

（管理課）

図書館協力用資料について

当館では、年間1万冊以上の寄贈資料を蔵書として整備しています。

なかには複数冊御寄贈いただける場合もあり、地域資料は複本として整備しますが、それ以外の資料は、ほとんどの場合2冊以上は受け入れていません。

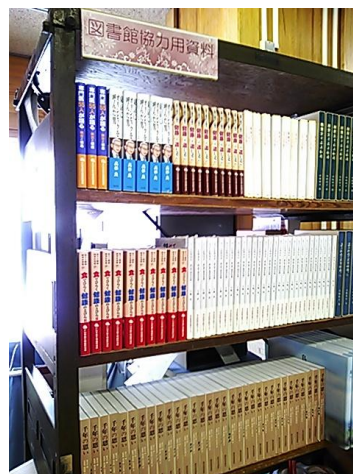
このため、御寄贈いただいた資料の重複分は、「図書館協力用資料」として市町村立図書館（図書室等）にお譲りし、有効活用しています。

現在、お譲りできる主な資料は下記のとおりです。その他を含めた全リストについては、図書館ポータル（情報共有ファイル>ファイル一覧>協力用図書）に掲載しています。

御希望の資料がありましたら、平成26年4月30日までにメールまたはファクシミリで資料課までお申し込みください。

図書館協力用資料については、今後も随時、図書館ポータル等でお知らせします。

なお、当館2階事務室に現物を見て選んでいただける棚を設置しましたので、御来館の際は是非お立ち寄りください。



（資料課）

【主なタイトル】

タイトル	著者	出版社	出版年
エミシとヤマト	千城央著	河北新報出版センター	2013.11
健康への道しるべ		日本衛生検査所協会	2009.3
島へ	上田義彦著	リコーフォトギャラリー —RINGCUBE	2011.7
正三和尚と万安禅師 (上)	川路 和夫 // 著	第一プリント社 (印刷)	2013.11
食でひらく健康のとびら		日本衛生検査所協会	2010.11
随聞記と正三和尚	川路和夫対訳・編	第一プリント社 (印刷)	2006.1
千年の思い	葉文玲著	浙江文芸出版社	2005.3

平成26年度 事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			・子ども読書の日(23日) ・こどもの読書週間(4/23~5/12) ○北図振～第1回理事会・総会 (24日 札幌市)
5	・書庫ツアー(子ども向け)(3日)		○北読進協～総会(札幌市)
6	・道民カレッジ連携講座(7日)	○北図振～北海道図書館新任職員 研修会(12~13日 当館) ○北日図連～北日本図書館大会 (19~20日 福島市)	・道民カレッジ連携講座(21日) ○全公図～総会・研究協議会 (27日 東京都)
7		○北図振～北海道図書館中堅職員 研修会(10~11日 当館) ○第1回北海道立図書館協議会	・道民カレッジ連携講座
8	・書庫ツアー(3日)		
9	○北図振～北海道図書館大会 (4~5日 札幌市)	・道民カレッジ連携講座(20日)	
10	○北図振～図書館サービス研修 (9~10日 当館) ○日図協～全国公共図書館研究集 会(総合・経営/サービス部門) (9~10日 群馬県高崎市)		・読書週間(10/27~11/9) ・文字・活字文化の日(27日) ○北読進協～優良読書グループ表 彰 ○日図協～全国図書館大会 (31日~11月1日 東京都)
11	・書庫ツアー(3日)	○北図振～第2回理事会・全道図書 館長会議(13日 札幌市) ○第2回北海道立図書館協議会 ・道民カレッジ連携講座	○北図振～専門研修(サービス/レ ファレンス)(27日 留萌管内) ・道民カレッジ連携講座
12	○北学図～青少年読書感想文全道 コンクール及び北海道指定図書 読書感想文コンクール (7日 札幌市)	○北図振～専門研修(子ども読書 /地域支援)(11日 檜山管内)	
1	○北学図～北海道学校図書館研修講 座(6~8日 札幌市)		○北図振～専門研修(経営/関係法 規)(22日 当館)
2	・書庫ツアー(3日)	○北図振～専門研修(サービス/ 資料保存)(12日 当館) ・道民カレッジ連携講座	
3		○第3回北海道立図書館協議会	

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日図連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

掲 示 板

〈貸出文庫の御案内〉

当館では、市町村向けの読書活動支援事業の一環として「貸出文庫」の提供を行っています。これは図書を10冊1セットとし市町村の図書館を通じて、読書サークルに貸出しを行う事業です。貸出しを御希望の際は、利用サービス課までお申し込みください。

また、購入のリクエストもできます。その際には、資料課までお申し込みください。

～平成25年度 受入タイトル～

* 神様のカルテ3	夏川 草介 /著	小学館
* 舟を編む	三浦 しをん /著	光文社
* 永遠の0	百田 尚樹 /著	太田出版
* 双頭の船	池澤 夏樹 /著	新潮社
* なでし子物語	伊吹 有喜 /著	ポプラ社
* のぼうの城	和田 竜 /著	小学館

〈大活字本の御案内〉

当館では高齢の方・視力の弱い方向けのサービスとして「大活字本」を収集しています。今年度は次の3タイトルを含む16タイトル（39冊）について新たに収集しました。これらの本は、開架書庫に配架しており、借りることができます。

また、所蔵のない本については、リクエストをすることができますので、閲覧カウンターにお申し込みください。

皆さまの御利用をお待ちしております。

～平成25年度 受入タイトル～

* 五郎治殿御始末	浅田 次郎 /著	埼玉福祉会
* 燃えよ剣1～5	司馬 遼太郎 /著	埼玉福祉会
* 火天の城1～3	山本 兼一 /著	大活字

北海道立図書館報 第196号

平成26年 3月14日発行

北海道立図書館長 阿 部 豊

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代表)

ダイヤルイン 386-8531 (総務企画部)

386-8522 (利用サービス部)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906 (利用サービス部)

388-2063 (総務企画部)

E-mail: gyoumu@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <http://www.library.pref.hokkaido.jp>